

第**173**期 株主通信

2019年4月1日

2020年3月31日



Contents	株主の皆さまへ	01
	連結業績ハイライト	01
	主要連結財務データ	02
	セグメント別業績	03
	TOPICS	05
	連結財務諸表	09
	会社の概況／株式情報	10

株主の皆さまへ

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第173期連結事業に関しましてご報告を申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループにおきましては、前期不調であったコラーゲン・ケーシング事業における収益改善施策に取り組むとともに、ゼラチン事業において需要の拡大が続いているコラーゲンペプチドの販売強化に努めた結果、売上高は微減となりましたが、収益面では大きく改善しました。

昨年12月中国で発生した新型コロナウイルス感染症は、急速に拡大して世界各国で猛威を振っており、今後の世界経済に深刻な影響を与えることが予想されます。当社グループにおきましては、経営体制の見直しを図り、収益の確保に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

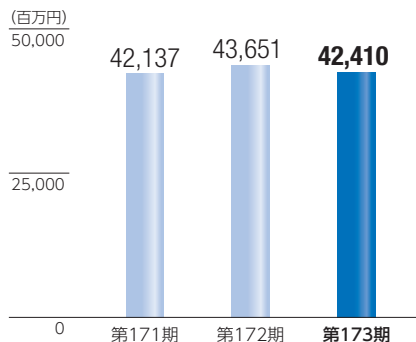
河村 桂 洋

令和2年6月

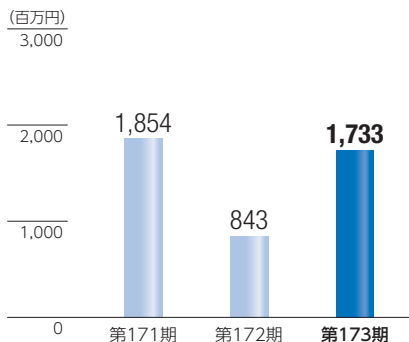
連結業績ハイライト

※ 当社は2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算定しております。

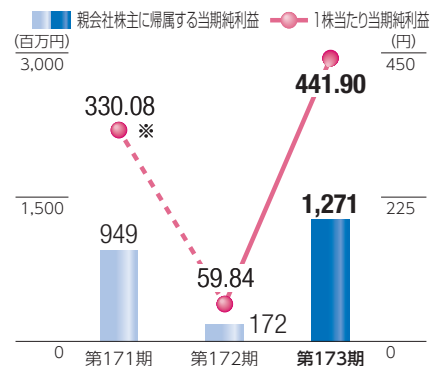
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益/1株当たり当期純利益

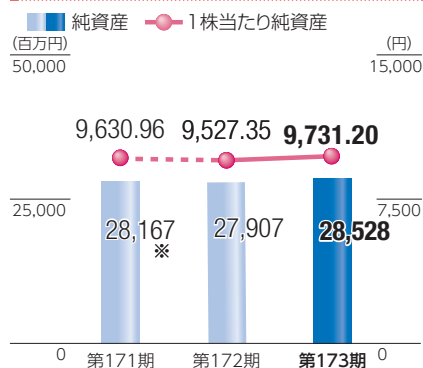


主要連結財務データ

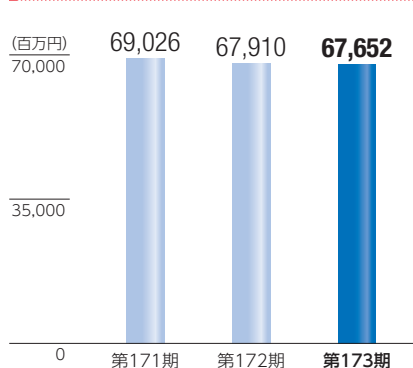
項目		期別	第171期 (2017.4.1~2018.3.31)	第172期 (2018.4.1~2019.3.31)	第173期 (2019.4.1~2020.3.31)
売上高	(百万円)		42,137	43,651	42,410
経常利益	(百万円)		1,854	843	1,733
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)		949	172	1,271
一株当たり	当期純利益 (円)		330.08	59.84	441.90
	純資産 (円)		9,630.96	9,527.35	9,731.20
総資産	(百万円)		69,026	67,910	67,652
純資産	(百万円)		28,167	27,907	28,528

コラーゲン・ケーシング事業において、生産性が向上したことにより、原価が低減しました。また、同事業の輸出販売においても、価格改定により、収益が大きく改善しました。

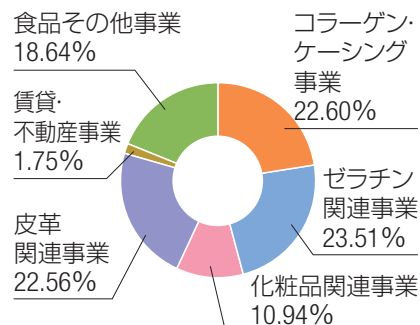
純資産 / 1株当たり純資産



総資産



セグメント別売上高(連結)



セグメント別業績

コラーゲン・ケーシング事業


売上高

9,585百万円

(前期比 103.7%) 

営業利益

906百万円

(前連結会計年度は
営業損失 108百万円) 

国内需要は、引き続き停滞しており、国内販売は苦戦しました。輸出版売は、競合他社との価格競争が激化するなかで、シェア拡大に取り組み、より付加価値の高い商品の拡販を推進するなど、収益改善施策に努めました。


製造部門においては、生産効率が大きく改善したことで原価が低減しました。コラーゲン・ケーシングの価格競争は、今後も加速することが予想されるため、引き続き生産性の向上に努めてまいります。



ゼラチン関連事業


売上高

9,970百万円

(前期比 100.4%) 

営業利益

875百万円

(前期比 101.6%) 

ゼラチン部門は、原料取引においてアフリカ豚コレラの影響による豚皮原料の価格高騰が続いており、輸入販売は大幅に減少しました。国内販売は、惣菜用途、健康食品用途、菓子用途で堅調に推移しました。

ペプタイド部門は、輸出版売における魚由来原料不足は解消してきており、健康食品用途や医療用途で好調に推移しました。なお、コラーゲンペプチドの新工場は、昨年8月に完成し稼働を始めており、高付加価値商品の製造開発に取り組んでおります。



賃貸・不動産事業

売上高

740百万円

(前期比 95.3%) 

営業利益

582百万円

(前期比 95.3%) 

再開発中の東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地のほか、一部を仮設学校用地として足立区に期限付きで賃貸しております。

また、大阪市浪速区の土地賃貸事業は、既存契約から切り

替え、同土地の新規事業の着手に先立ち、埋蔵文化財の発掘調査を行っております。

当社は、引き続き資産価値の向上に努めるとともに、最大限の事業収益確保を目指して当社所有土地の有効活用を図ってまいります。

写真は、2019年11月時点の大阪市浪速区(なんば開発地区)を撮影したものです。



化粧品関連事業

売上高

4,639百万円

(前期比 105.3%) ↗

営業利益

308百万円

(前期比 115.4%) ↗

成長基調にある通信販売市場のなかで、引き続き広告宣伝に注力し、WEB経由での新規顧客の獲得と販売促進に注力しました。また、新商品発売による新たなターゲットの開拓に努めました。この結果、健康食品部門では、広告宣伝の効果が顕著であり「ニッピーコラーゲン100」が好調に推移しました。化粧品部門は、上半期においては新規顧客が増加し好調に推移したものの、消費税増税後は、顧客の消費マインド低下の影響を受けて苦戦しました。



皮革関連事業

売上高

9,569百万円

(前期比 88.3%) ↘

営業利益

398百万円

(前期比 105.3%) ↗

靴・袋物部門は、引き続き厳しい状況が続いております。車輛部門は、主要顧客向けの裁断品及び薬品の販売が順調に推移しました。クラスト（生地）については、中国経済の減速傾向の影響を受けて苦戦しました。また、第4四半期においては、新型コロナウイルス感染症の影響で売上は減少しました。

当社は、皮革関連の全方位体制の企業として、関連会社との協力的体制強化に取り組んでまいります。



食品その他事業

売上高

7,906百万円

(前期比 93.5%) ↘

営業利益

238百万円

(前期比 132.3%) ↗

バイオ関連事業は、再生医療の進捗に伴い順調に推移しました。また、有機穀物、BSE検査キット、リンカー製品については、堅調に推移しました。一方で、イタリア食材、フィルム等の販売は厳しい状況が続きました。

食品その他事業全体としては、売上は減少したものの、利益率の高い商品の販売が順調に推移したことにより営業利益は増加しました。当社は、成長基調にある再生医療分野に引き続き注力してまいります。



2019年度の主なトピックスをご紹介します。

新工場稼働開始

新たなコラーゲンペプチド製造工場「CQT1棟」が、昨年竣工し、稼働を開始しました。この名前には、“Cost”、“Quality”、“Technology”、“世界No.1”という意味が込められています。本工場は、自動倉庫システムを採用しており、省人化と製造工程の効率化を図っています。本工場の稼働により、製造量の増加、新技術開発及び製品化への効率化を実現するとともに、市場ニーズやお客様のご要望に迅速・柔軟に対応してまいります。



富士工場CQT1棟外観

排水処理設備更新

ゼラチン、コラーゲンペプチド及びコラーゲンケーシングの製造には、大量の水を使用します。当社工場で使用した水は、工場隣接の排水処理設備で適切に処理され、富士宮市の岳南排水路へと排出しています。当社は、既存設備の老朽化及び新工場の稼働により製造量増大が見込まれることから、排水処理設備の更新工事を実施しました。従来の設備より処理能力が大幅に改善され、臭気対策を行うなど、工場周辺地域における環境を重視した設備となっております。



排水処理設備外観

新商品発売

子猫からシニア猫までの 健康気配りサプリメント、発売開始しました

あしたも遊ぼう。(2019年10月発売)

2019年10月、以前よりお客様からのご要望があった、猫用コラーゲンサプリメントを発売しました。毎日の食事にプラスすることで、不足しがちな非必須アミノ酸を補給し、足腰・皮ふ・毛並みの健康維持が期待でき、子猫からシニア猫まで幅広くご使用いただけます。

全国のペットショップやペット用品専門店、ウェブサイト (URL:<http://nippi-direct.com/>)より購入可能です。



新商品発売

オイルと“生コラーゲン”の 上質なうるおいでボディケアを始めませんか

モイストパウダー イン オイル (2019年9月発売)

当社独自の技術で開発した、生コラーゲンパウダーを配合したコラーゲンオイルが誕生しました。

浸透性が高く、伸びのよいサラッとした使用感です。

高い保湿効果で、うるおいのある肌へと導きます。

ボディや顔、髪などに使える全身用で、リラックス作用のあるローズ、サンダルウッドなどの10種類の精油をブレンドした“エレガントウッド”の香りが特長です。

入浴後の少し水気が残った肌や、タオルドライ後の髪の毛先などにご使用ください。

乾燥が気になる季節のスキンケアにおすすめです。



新商品発売

「手間をかけずに、きれいに」を叶える 高機能オールインワン化粧品が誕生しました

オールインワン プレミアムジェル (2019年11月発売)

多機能なオールインワンジェルが誕生しました。

新開発の“高浸透カプセルコラーゲン”をはじめ3種の独自のコラーゲンを配合しています。

肌の角層までずっと浸透し、コラーゲンを届けて、うるおいを保ちにくい大人の肌をしっかり保湿し、もっちりとした弾力のある、しなやかな肌へと導きます。

さらに、紫外線ダメージから守る“ダメージプロテクター”も配合しました。

大人の肌を健やかに整え、エイジングサインの出現を防いでくれます。



連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第172期 (2019年3月31日現在)	第173期 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	23,027	23,693
固定資産	44,876	43,957
有形固定資産	40,080	39,392
無形固定資産	191	320
投資その他の資産	4,604	4,244
繰延資産	5	1
資産合計	67,910	67,652
負債の部		
流動負債	23,204	20,798
固定負債	16,798	18,325
負債合計	40,003	39,124
純資産の部		
株主資本	17,674	18,830
その他の包括利益累計額	9,730	9,159
非支配株主持分	502	538
純資産合計	27,907	28,528
負債及び純資産合計	67,910	67,652

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第172期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	第173期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	43,651	42,410
売上原価	34,971	32,604
販売費及び一般管理費	7,848	7,949
営業利益	831	1,856
営業外収益	294	198
営業外費用	282	321
経常利益	843	1,733
特別利益	0	5
特別損失	8	130
税金等調整前当期純利益	835	1,608
当期純利益	213	1,312
親会社株主に帰属する当期純利益	172	1,271

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	第172期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	第173期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,034	1,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,190	△280
財務活動によるキャッシュ・フロー	29	△1,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△19
現金及び現金同等物の増・減(△)額	△1,171	58
現金及び現金同等物の期首残高	5,120	3,948
現金及び現金同等物の期末残高	3,948	4,007

会社の概況

(2020年3月31日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社ニッピ
設立年月日	1907年(明治40年)4月1日
資本金	4,404百万円
従業員数	631名(連結対象会社合計)
本社	東京都足立区千住緑町1-1-1
主な事業内容	コラーゲン・ケーシング、ゼラチン、その他コラーゲン関連商品の製造販売及び皮革関連製品等の販売
ホームページ	https://www.nippi-inc.co.jp/
主要取引銀行	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行 商工組合中央金庫

(2020年6月26日現在)

■ 取締役及び監査役

代表取締役会長	伊藤 隆 男
代表取締役社長	河村 桂 作
取締役	小林 祥 彦
取締役	橋 爪 秀 知
取締役	大 浦 顕 逸
取締役	井 上 善 之
取締役(社外)	村 上 勝 彦
監査役※	吉 田 安
監査役(社外)	早 山 徹
監査役(社外)	大 倉 喜 彦

※は常勤監査役

株式情報

(2020年3月31日現在)

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リーガルコーポレーション	415	14.45
大成建設株式会社	222	7.74
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	118	4.12
中央建物株式会社	116	4.05
東京建物株式会社	100	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	78	2.72
株式会社みずほ銀行	69	2.43
みずほ信託銀行株式会社	60	2.09
特種東海製紙株式会社	50	1.74
株式会社三菱UFJ銀行	42	1.46

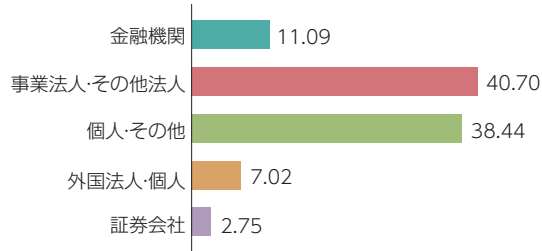
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、自己株式(12,740株)を控除して計算しております。

■ 株式の状況

発行可能株式総数	11,550,000株
発行済株式の総数	2,876,260株
	(自己株式12,740株を除く)
株主総数	3,205名

所有者別持株比率



ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報、IR情報など様々な情報を掲載しております。



<https://www.nippi-inc.co.jp/>

株主優待

2020年3月31日現在の株主名簿に記載された、1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

●「ニッピコラーゲン100」1箱(110g×3袋)



7月上旬の発送を予定しております。

●お問い合わせ先
03-3888-6651

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 基準日	毎年6月 定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める
配当金受領株主確定日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先) 公告方法	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル) 電子公告により当社ホームページに掲載 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

【株式に関するお手続きについて】

1. 証券会社等に口座をお持ちの場合、原則として住所変更や買取請求などの株主様の各種お手続きは、ご利用の証券会社等を経由して行っていただくこととなりますので、証券会社等宛ご連絡をお願いいたします。
2. 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、「みずほ証券」本店・全国各支店・プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)、「みずほ信託銀行」本店・全国各支店でお取り扱いいたします。
3. 支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、上記「郵便物送付先」宛にお問い合わせください。
4. 未払配当金のお支払につきましては、「みずほ信託銀行」本店・全国各支店、「みずほ銀行」本店・全国各支店にお問い合わせください。なお、「みずほ証券」ではお取り次ぎのみとさせていただきます。